

平成24年6月20日
於：ブライトホール

世田谷区基本構想審議会 第2部会（第3回）

議 題

1. 第2部会の検討テーマについて
街づくり、防災

2. その他

《配付資料》

資料1 街づくり

資料2 防災

資料3 委員提供資料

《次回予定》

第2部会（第4回） 7月3日（火）18時30分

区役所第3庁舎3階 ブライトホール

世田谷区基本構想審議会第2部会 街づくり 資料

めざすべき都市のすがた(将来目標)【現世田谷区都市整備方針】

1. 都市づくりの骨格プラン

└────────── ①広域生活拠点、主要な地域生活拠点の現況

2. 住宅地や商業地など土地利用の将来像(土地利用構想)

└────────── ①土地利用現況調査データ

3. 道路、公園、防災施設など都市施設の将来像

└────────── ①道路整備の状況

└────────── ②公共交通不便地域

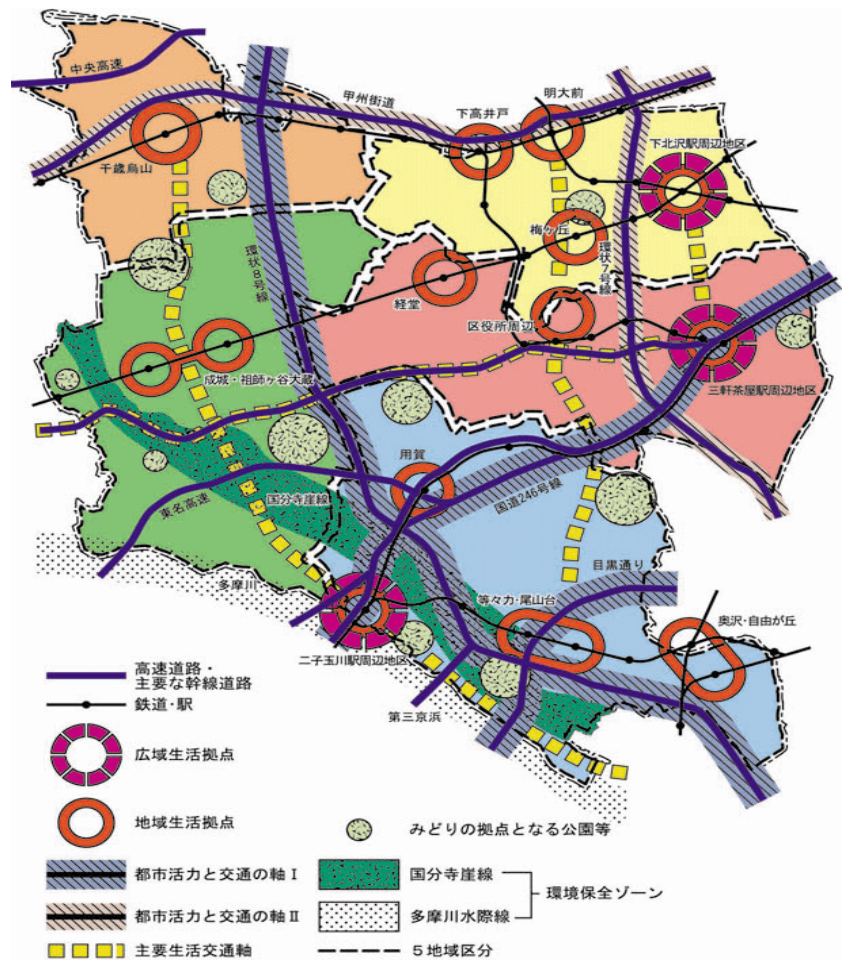
└────────── ③公園、みどり率の現況、推移

└────────── ④豪雨対策の取組み

広域生活拠点について

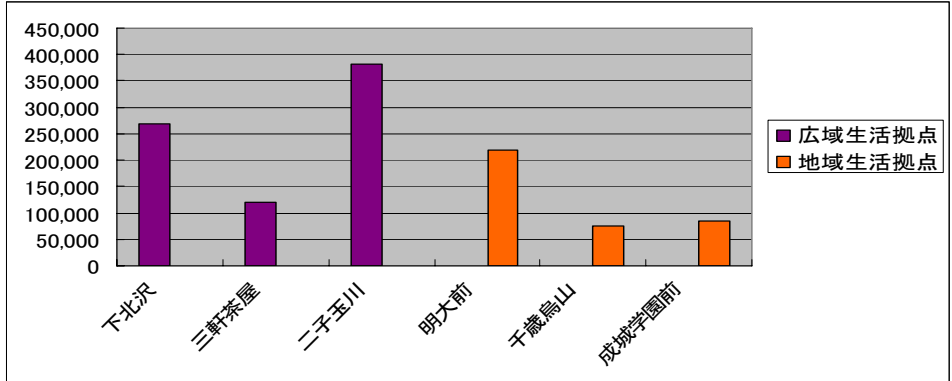
広域生活拠点・・・

世田谷区都市整備方針において、主として商業業務機能および都市的文化情報発信機能が集積し、世田谷の中心的「核」とであると同時に世田谷を越えた広域的生活拠点として3地区を位置付けている。



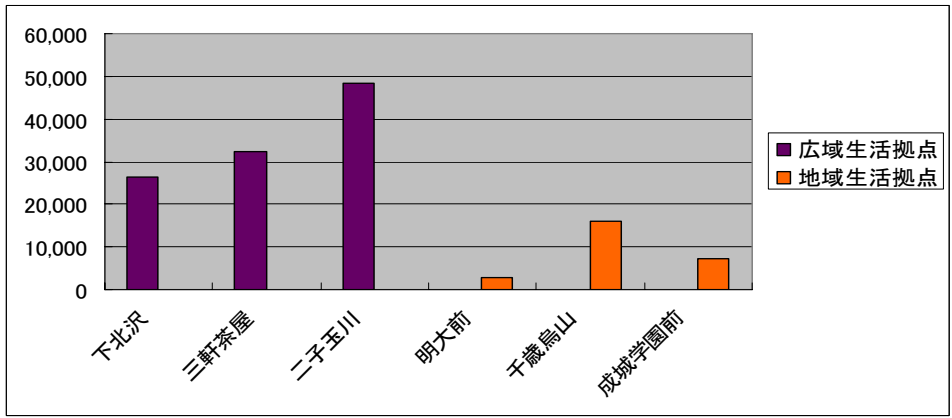
都市整備方針：都市づくりの骨格プラン図

駅乗降客数(人／日)H20



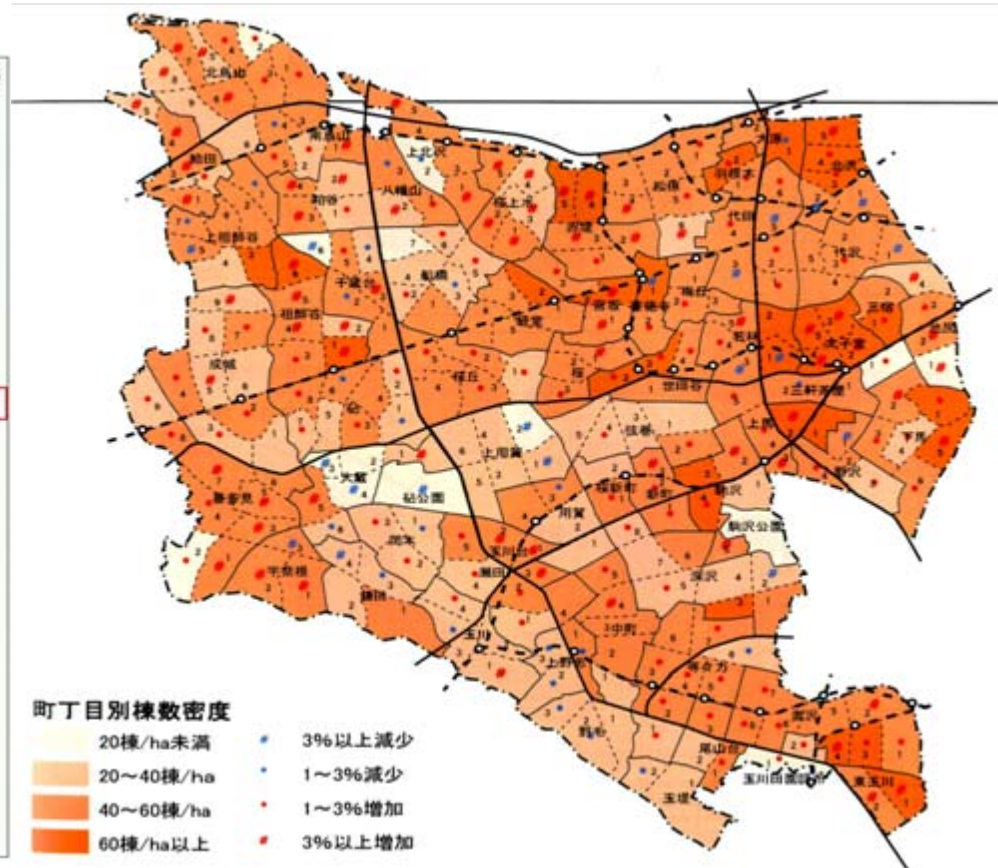
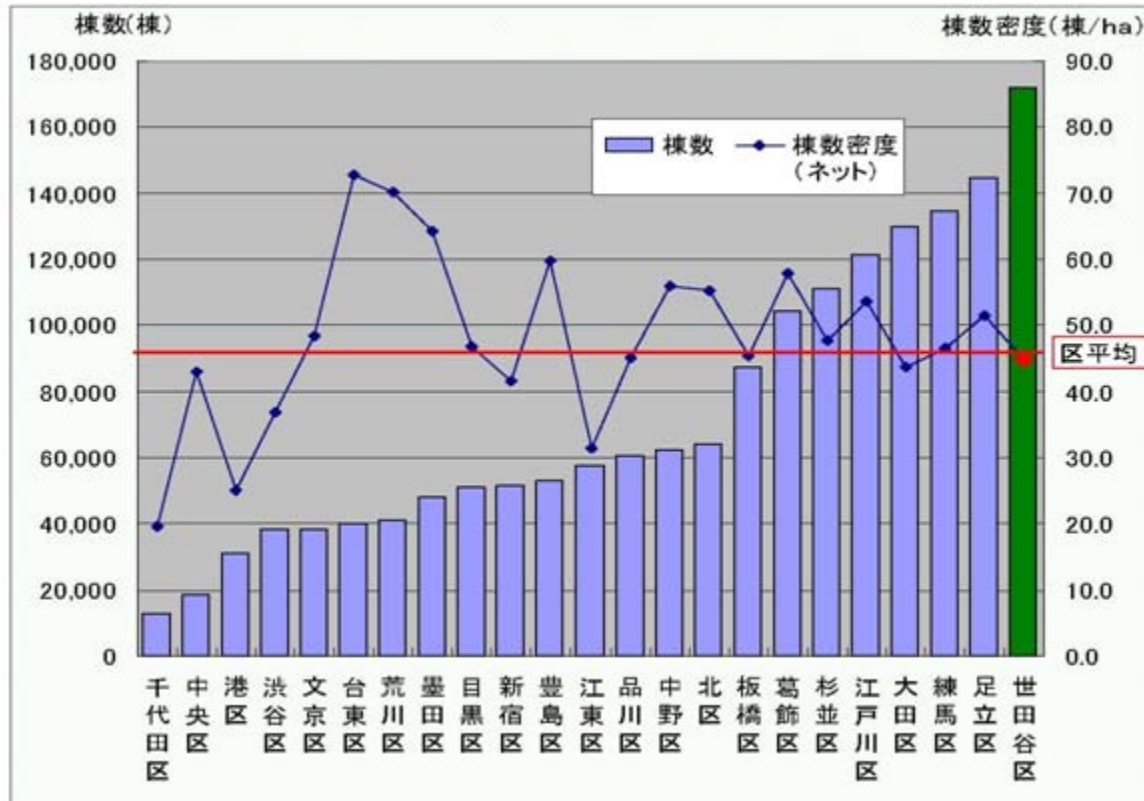
※1 下北沢、明大前、二子玉川の各駅には、他線への乗換人員を含む。

小売事業所売場面積(m²)※2 H19



※2 都市計画法第8条に定める商業地域及び近隣商業地域において小売店、飲食店、サービス業を営む事務所が接近して30店舗以上ある商店街を集積した面積

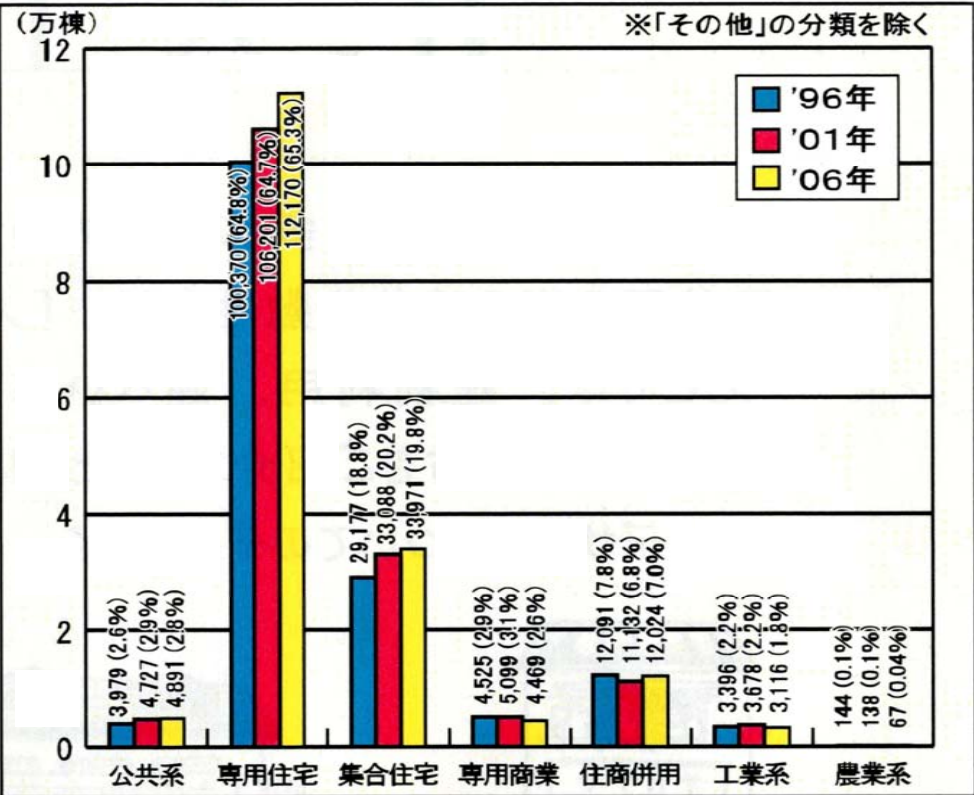
世田谷区の建物棟数密度



(出典)
世田谷区土地利用
現況調査2006

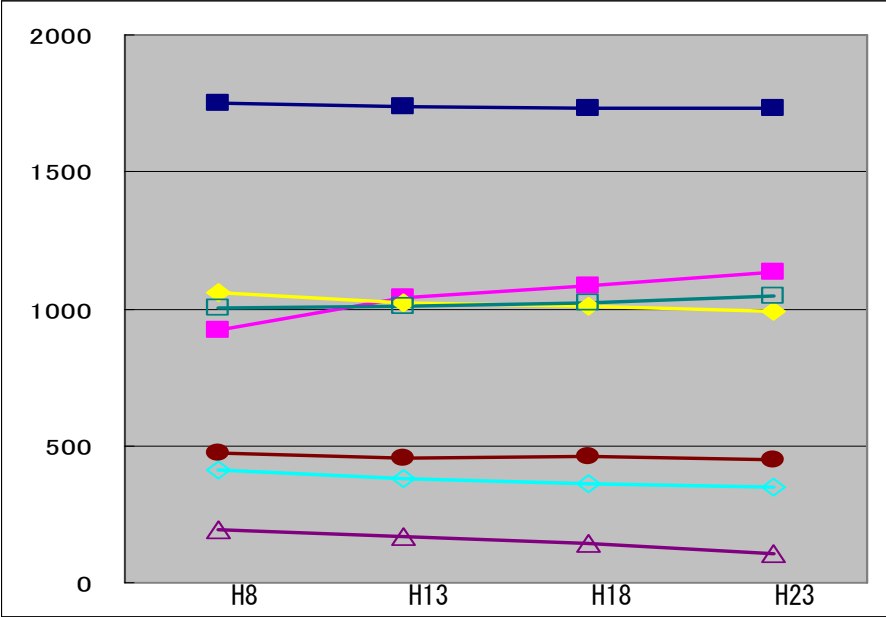
世田谷区の「建物棟数」 「土地利用状況」

建物棟数



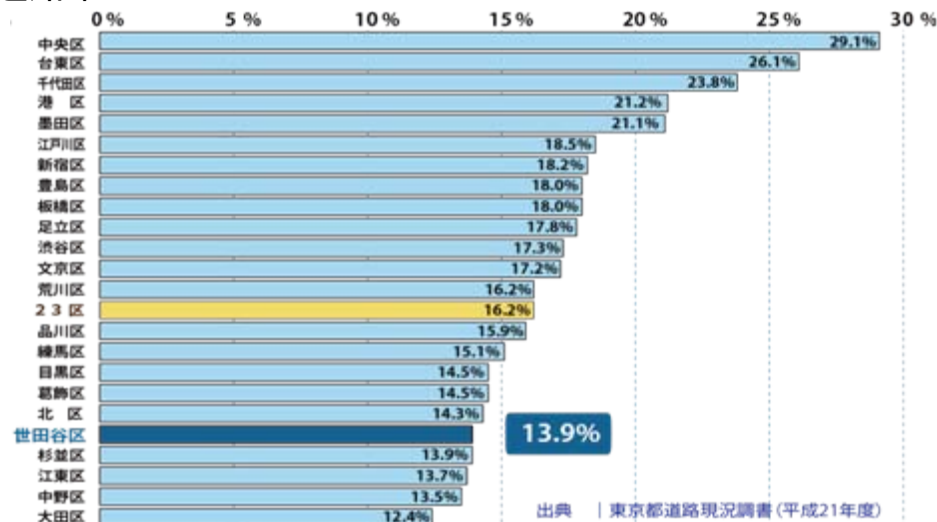
全建物棟数は約17万棟
住宅関連で全棟数の9割
以上を占める

(出典)
世田谷区土地利用
現況調査2006

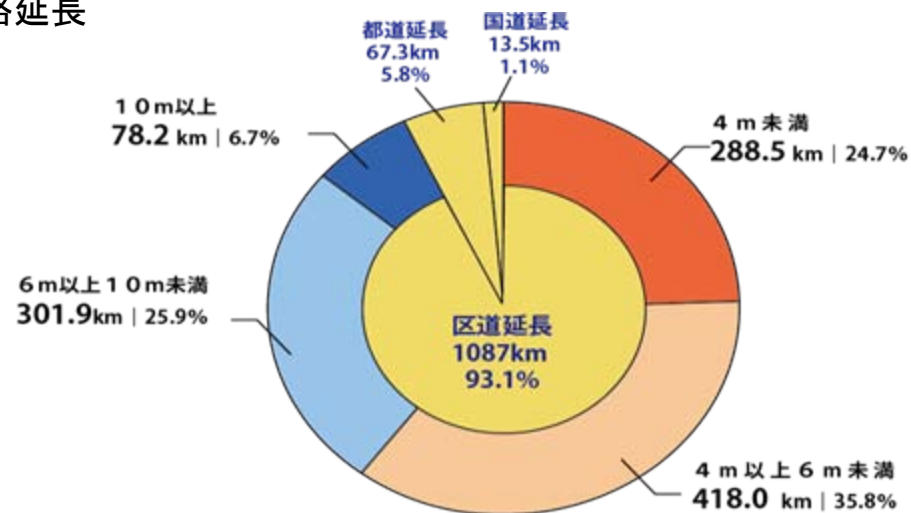


土地利用の構成		面積(ha)			
		8年度	13年度	18年度	23年度
独立住宅	■	1748.7	1738.6	1730.1	1735.0
集合住宅	■	921.4	1041.2	1085.1	1132.0
その他宅地	◆	1060.0	1021.2	1010.1	990.2
空地系	◇	414.3	379.4	361.1	349.0
農地系	△	191.2	166.7	141.4	108.8
公園・緑地・河川系	●	471.4	452.0	459.2	447.1
その他非宅地	□	1001.5	1009.2	1021.4	1046.1

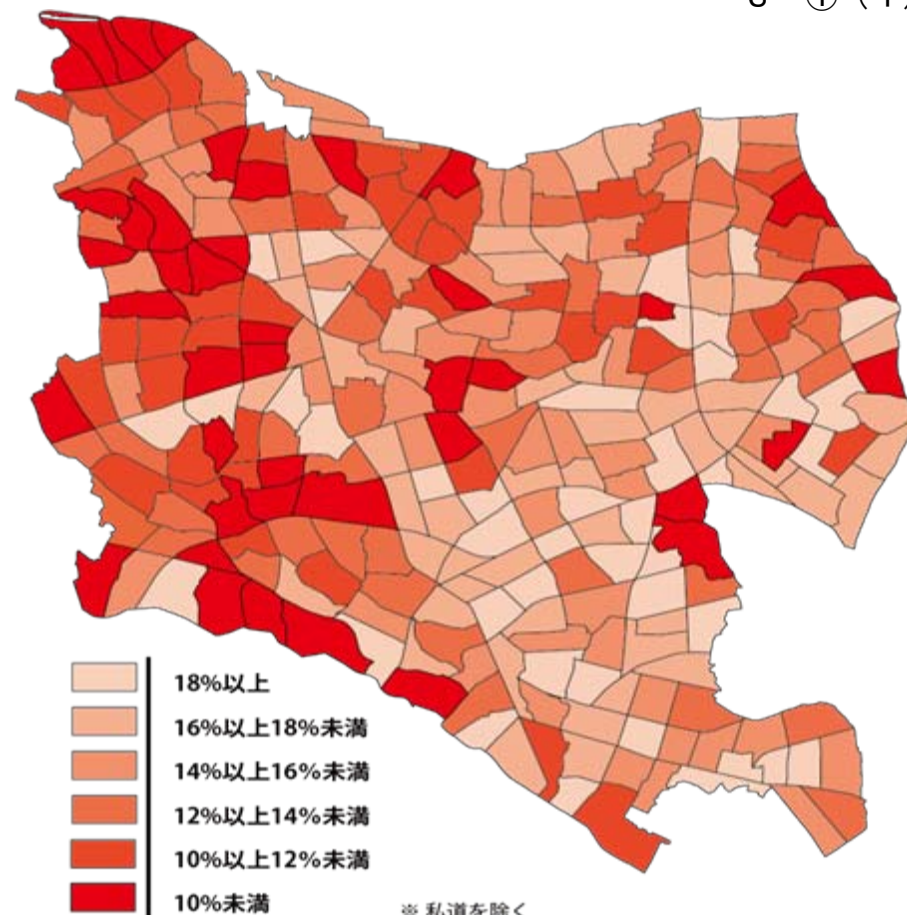
■道路率



■道路延長



参考 | 世田谷区土木施設現況調査(平成23年度)



区内の道路率(区域内に占める道路面積の割合)は約14%

道路率は23区中19番目の順位

区の北部、西部が特に道路率が低い

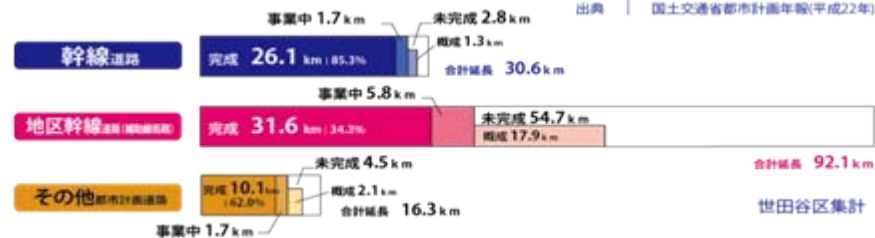
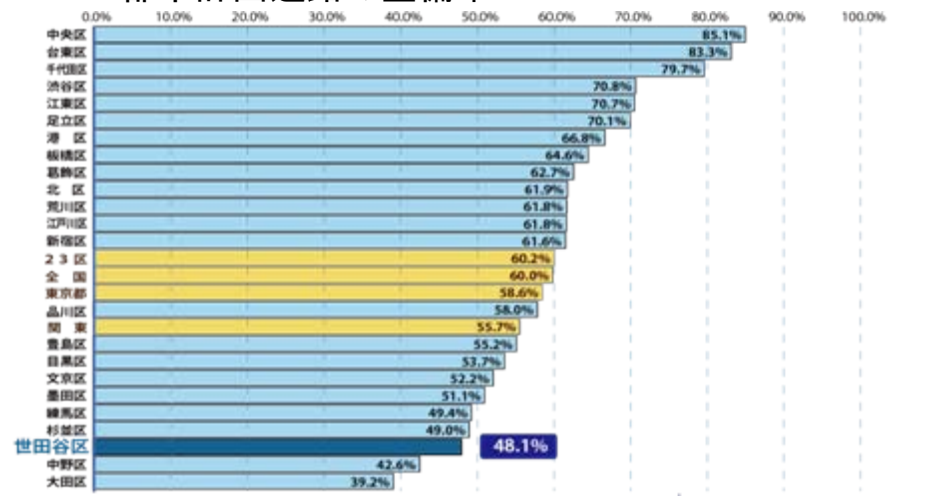
幅員6m未満の道路は区内道路延長の約6割

全体的に道路率が低く、幅員の狭い道路が多い

■都市計画道路の整備状況



■都市計画道路の整備率



■延焼遮断帯に指定された都市計画道路の整備状況



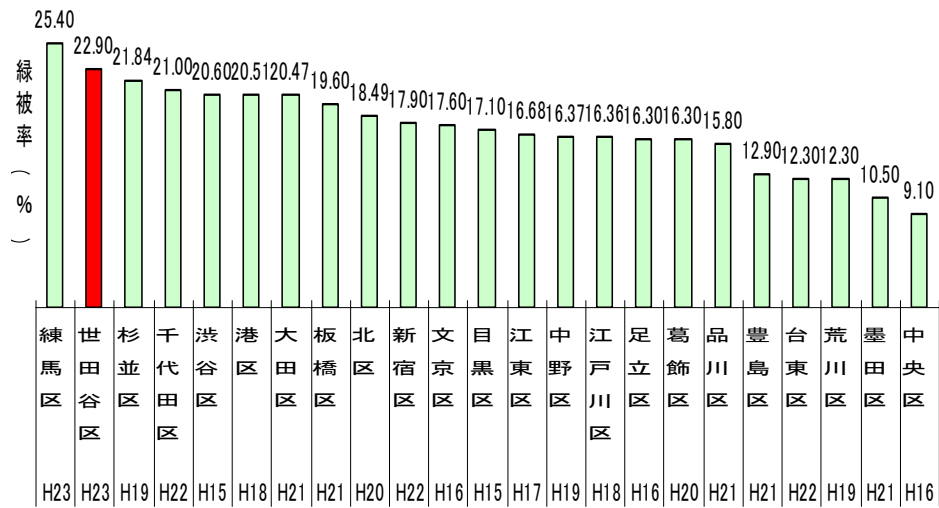
都市計画道路の整備率は約5割

整備率は23区中21番目の順位

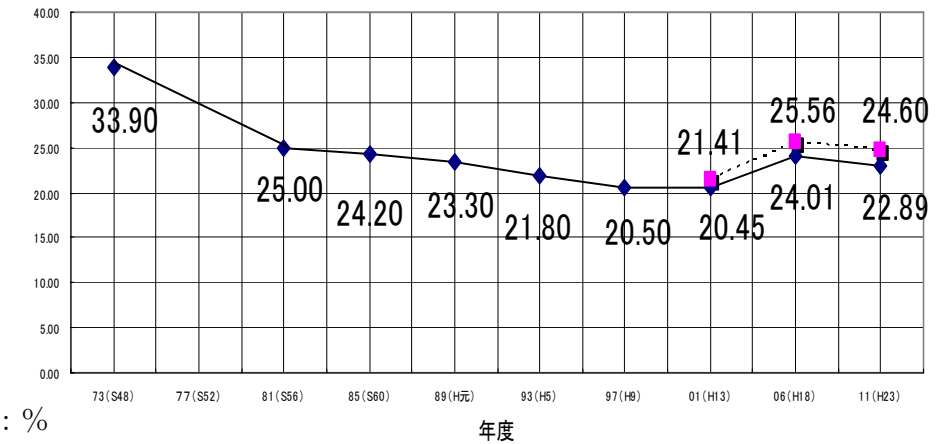
地区幹線道路[補助線街路]の整備が遅れている

「骨格防災軸」は概ね完成、しかし「主要延焼遮断帯」の3割、「一般延焼遮断帯」の約5割は未整備

世田谷区の緑被率・みどり率推移



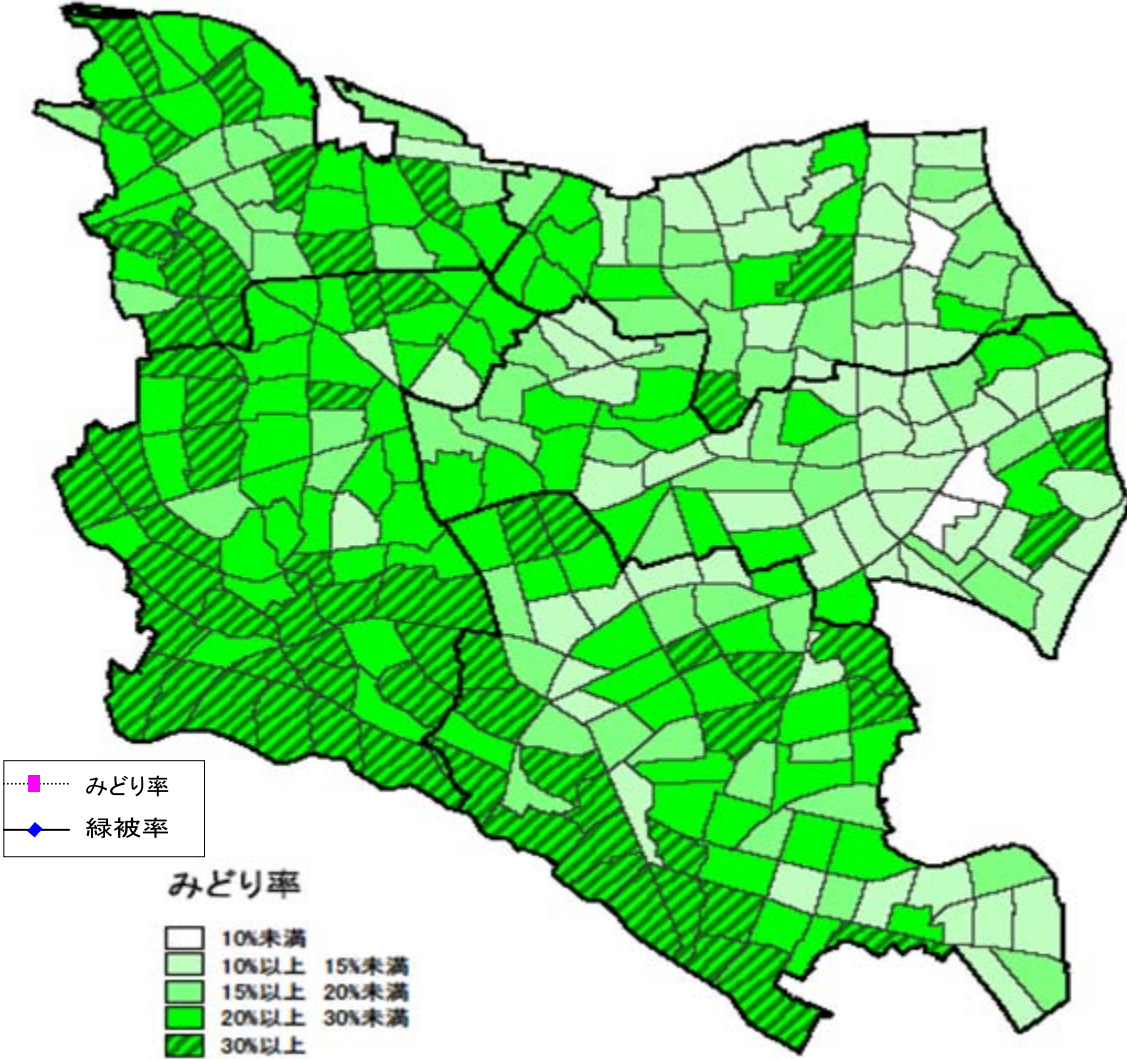
東京23区における各区の緑被率



単位：%

※平成18年度調査より、デジタルセンサーによる緑被の自動抽出手法を導入した。

世田谷区のみどり率分布（平成23年度）



平成元年～平成23年

浸水概況図(H1～23)



浸水区域	水害発生日	浸水区域	水害発生日	浸水区域	水害発生日
	平成元年7月31日		平成11年7月21日		平成18年5月24日
	平成元年8月10日		平成11年8月29日		平成18年8月12日
	平成2年8月8日		平成12年7月7日		平成18年9月11日
	平成2年9月13日		平成13年6月7日		平成19年6月10日
	平成2年9月30日		平成13年7月25日		平成19年7月29日
	平成3年7月5日		平成13年8月11日		平成19年9月6日
	平成3年8月20日		平成13年8月21日		平成20年7月8日
	平成3年9月18日		平成13年9月10日		平成20年7月12日
	平成4年7月15日		平成14年8月2日		平成20年7月29日
	平成4年12月7日		平成14年8月4日		平成20年8月5日
	平成5年8月26日		平成14年8月19日		平成20年8月29日
	平成5年11月13日		平成14年9月6日		平成20年9月6日
	平成6年8月20日		平成14年9月7日		平成20年9月7日
	平成7年8月2日		平成15年5月20日		平成21年8月24日
	平成7年8月22日		平成15年10月13日		平成21年10月7日
	平成8年9月22日		平成16年9月4日		
	平成9年4月7日		平成16年10月9日		
	平成9年8月23日		平成16年10月20日		
	平成9年9月3日		平成17年9月4日		

首都直下地震による被害想定比較

想 定 項 目		首都直下(H18年想定)	首都直下(H24年想定)	
条件等	震源・規模	東京湾北部 M7.3 震源の深さ約30～50Km	東京湾北部 M7.3 震源の深さはH18より浅いと想定	差引
	次期及び時刻	冬の夕方18時		
	風 速	15m/秒	8m/秒	
震度	6強地域面積比率	0.9%	66.8%	
	6弱地域面積比率	99.1%	33.2%	
人的被害	死 者	419人	655人	+236人
	原因別	建物被害・屋内収容物	229人(215+14)	+175人
		急傾斜地崩壊	3人	-5人
		火 災	411人	+74人
		ブロック塀等	26人	+8人
		落 下 物	1人	
	負 傷 者 (うち重傷者)		7,449人 (1,366人)	+100人 (+434人)
建物被害	ゆれ等による全壊	3,847棟	6,074棟	+2,227棟
	火災による全焼 (全壊建物を含まない)	30,551棟	22,455棟	-8,096棟
ライフライン被害	電力(停電率 火災を考慮する)	16.9%	19.4%	+2.5%
	通信(電話の不通率)	15.1%	12.7%	-2.4%
	ガス(都市ガスの供給停止率)	0.0%	1.2%	+1.2%
	上水道(断水率 1日目)	25.5%	30.8%	+5.3%
	下水道(管きよ被害率)	19.9%	24.7%	+4.8%
その他	帰宅困難者数	114,793人	168,047人	+53,254人
	避難者数	1日後の自宅外避難者数 (うち避難所生活者数) 277,526人 (180,392人)	避難人口 (避難生活者数) 242,390人 (157,553人)	-35,136人 (-22,839人)
	エレベータ閉じ込め台数	451台	269台	-182台
	災害時要援護者数	—	406人	新規
	自力脱出困難者数	—	1,850人	新規
	震災廃棄物	—	257万トン・324万 m ³	新規

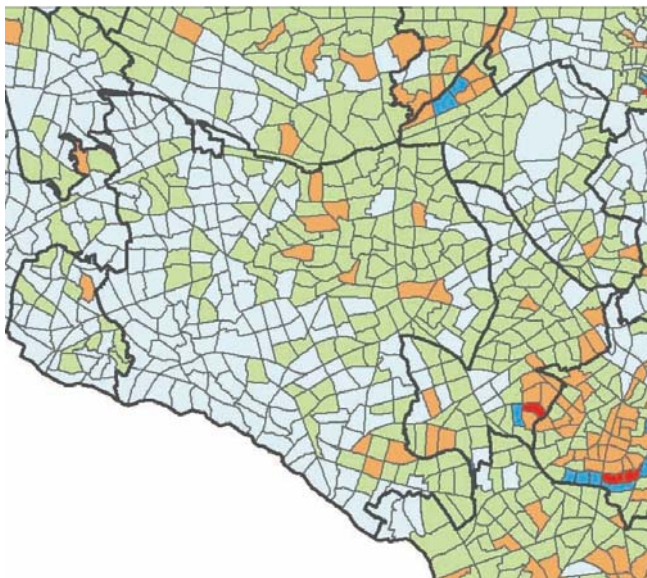
【出展】H18年想定:世田谷区地域防災計画[20年修正]

H24年想定:首都直下地震による東京の被害想定(区市町村被害想定結果)

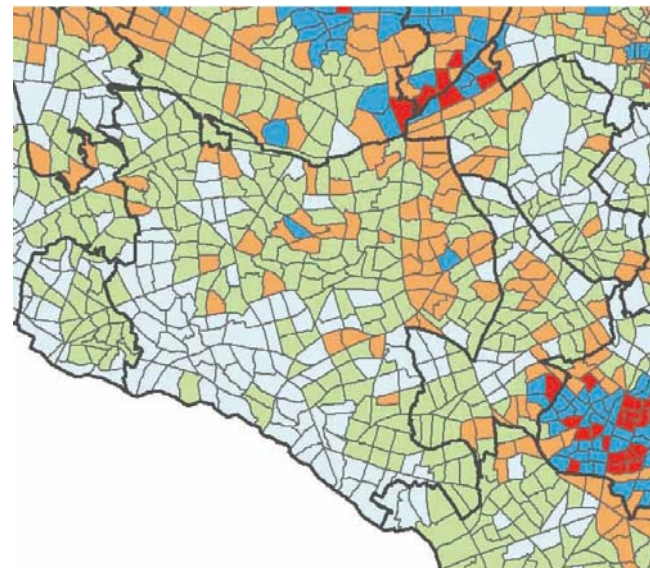
世田谷区の地震に関する地域危険度

基本構想審議会第2部会（H24.6.20）資料2－②

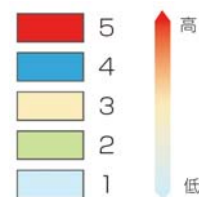
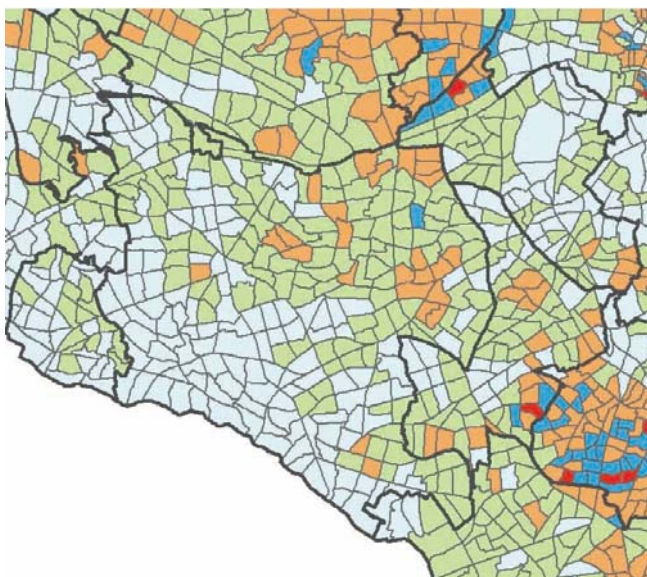
1. 建物倒壊危険度



2. 火災危険度



3. 総合危険度



（出典）
東京都都市整備局
「あなたのまちの地域危険度」
地震に関する地域危険度測定調査
（平成20年2月）

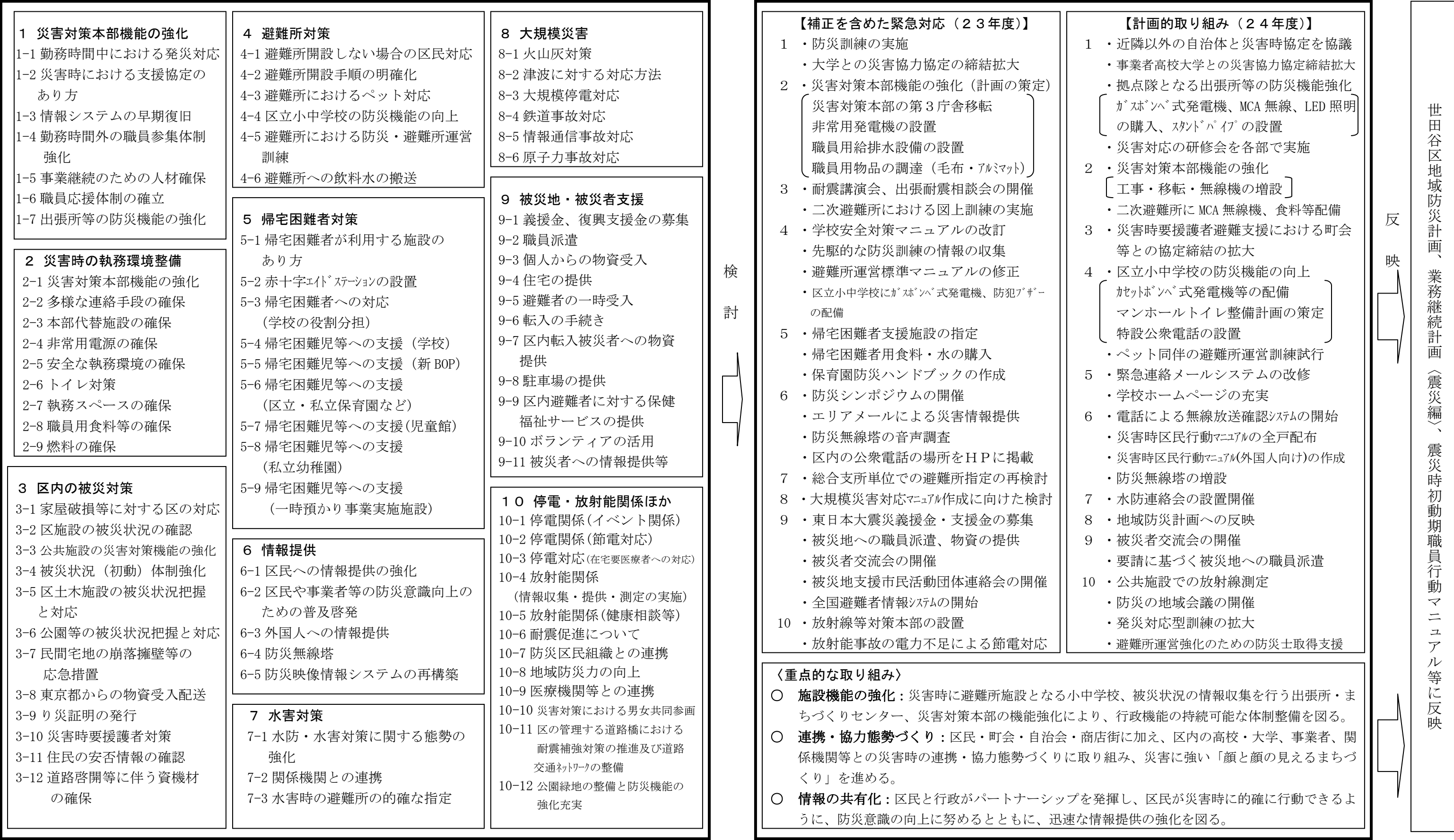
1. 災害対策総点検の基本的な考え方

平成24年3月 危機管理室

- ・区民の生命と財産と健康を守ることが、行政の使命であるとの基本的な考え方のもと、東日本大震災を踏まえ、災害時において、実効性の高い対策の確立と体制の強化を図ることを目的に全庁あげて取り組む。
- ・災害対策総点検の実施にあたっては、東日本大震災を教訓に、予断を排し様々な災害を想定するとともに、これまで区が進めてきた災害対策における課題の抽出・検討・総務省消防庁からの緊急点検項目に取り組み、災害に強い世田谷を実現する。

2. 災害対策総点検項目（80項目）

3. 主な取り組み



平成24年6月20日

世田谷区基本構想審議会第2部会 「防災」について

震災に備える世田谷区に向けて（メモ）

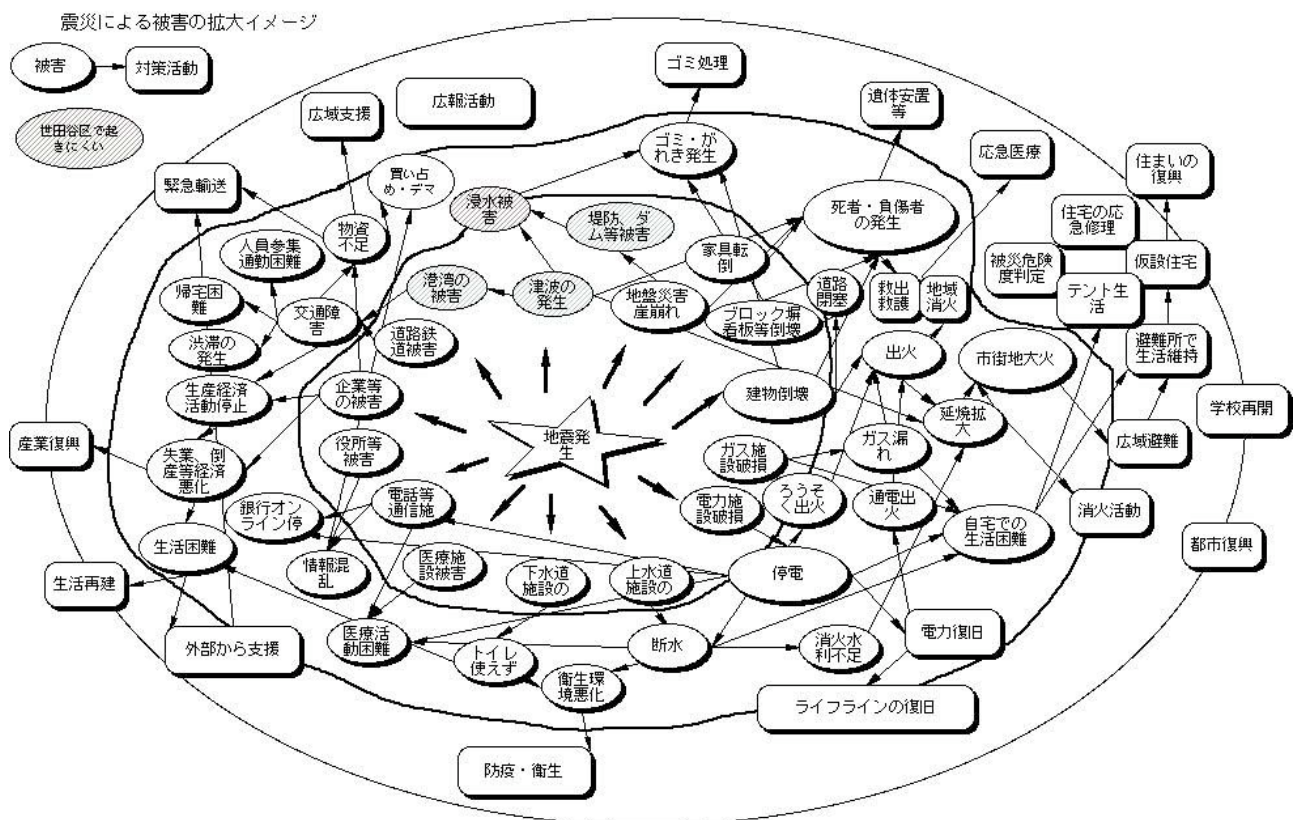
吉川仁（都市プランナー／元首都大学東京特任教授）

◆ 3.11 東日本大震災の教訓

◆ 世田谷区で起こりうる被害と被害想定

◆ 災害対策／防災まちづくりの視点-災害に備えるとは・・・

- ・ 防災・減災・復興
- ・ 自助・共助・公助
- ・ 防災のためのまちづくり／防災にも役立つまちづくり／防災につながるまちづくり
- ・ 防災からはじめるまちづくり／防災でつなぐまちづくり



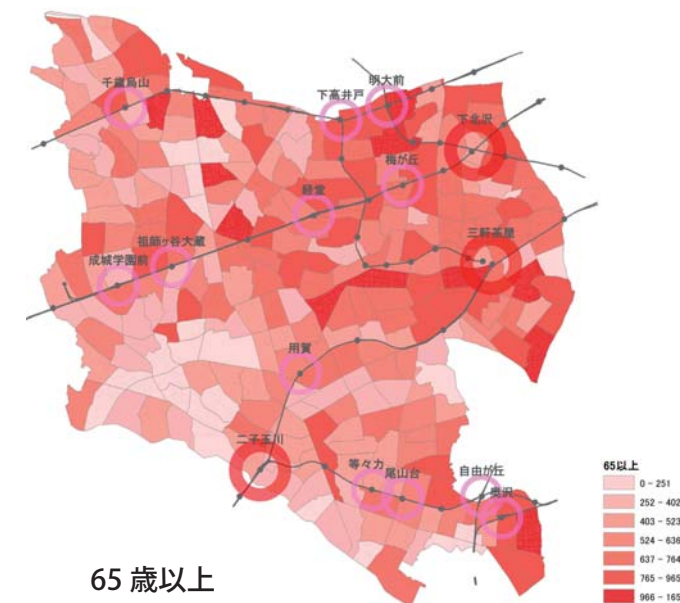
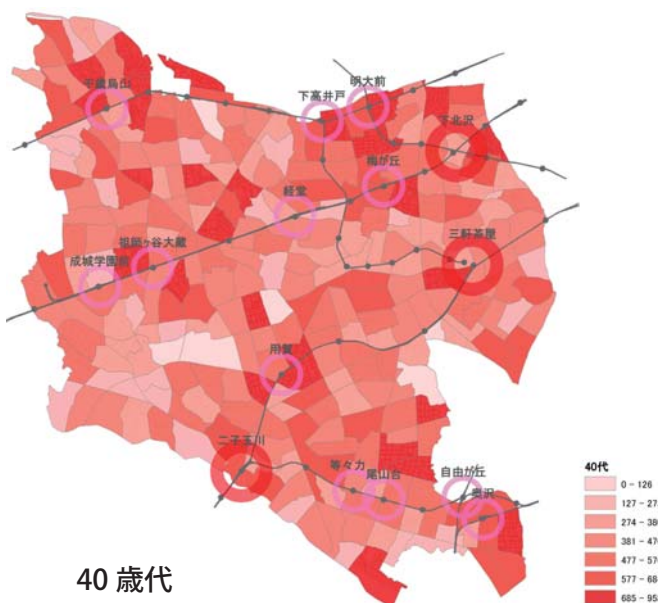
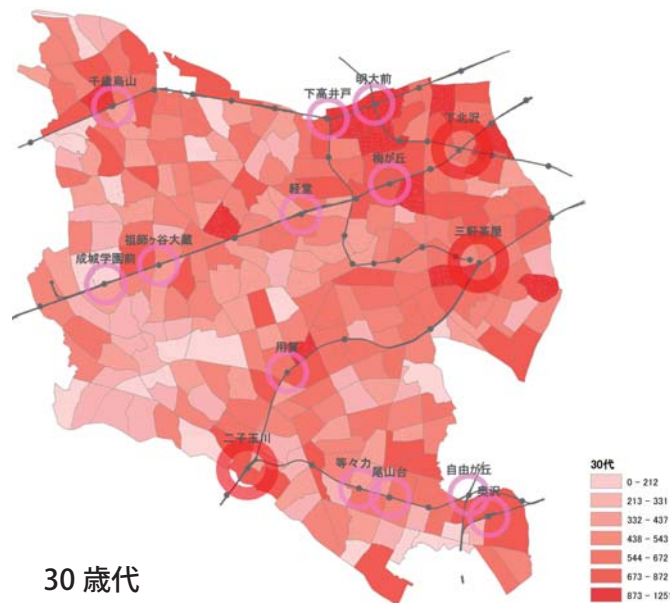
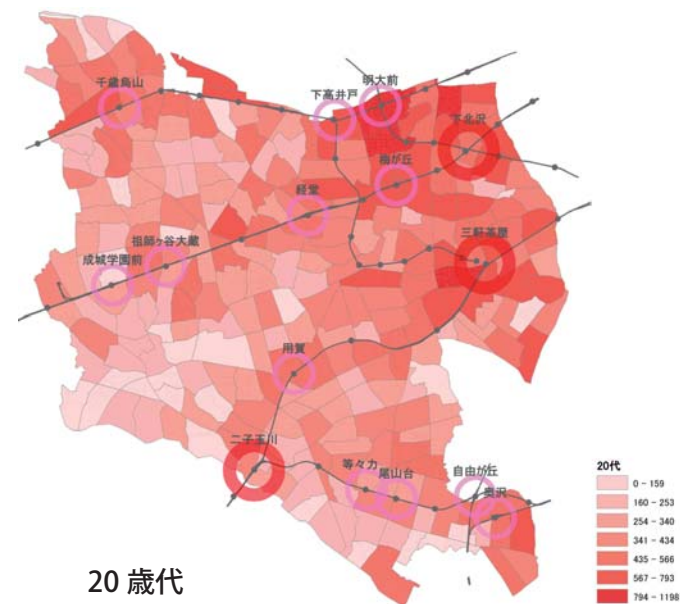
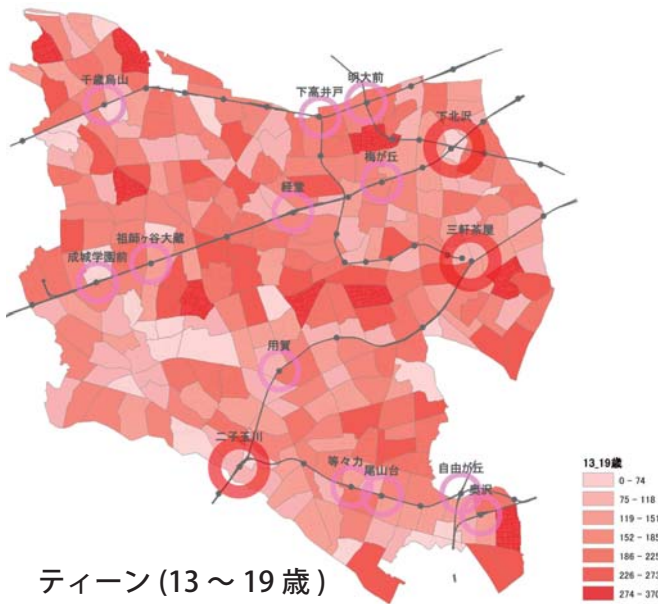
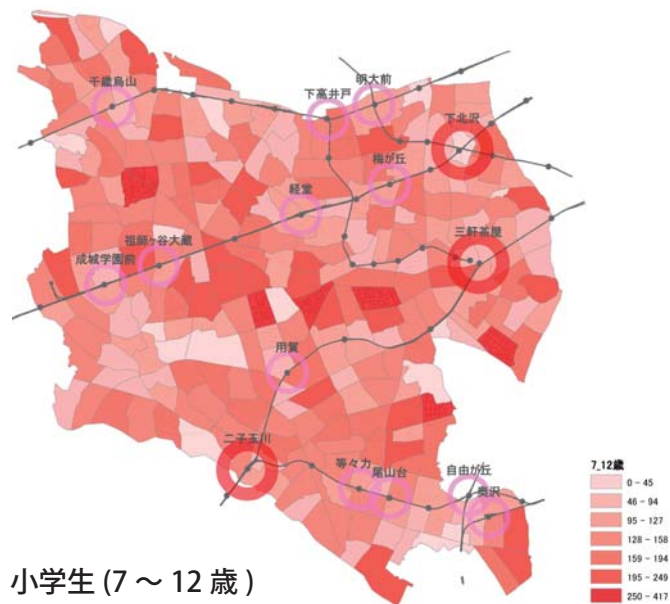
参考図 大都市における震災被害の拡大と対策活動のイメージ

世田谷区町丁別人口分布図

○ 広域生活拠点
○ 地域生活拠点

基本構想審議会第2部会（H24.6.20）資料3

この地図作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て
国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用



世田谷区公共サービス＆零細事業体分布図

○ 広域生活拠点
○ 地域生活拠点

※この地図作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て
国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用

